

うえだ News 環境市民会議

平成 15 年 12 月 15 日
第 2 号

発行：
うえだ環境市民会議
〒386-8601
上田市大手一丁目 11-16
上田市生活環境課内
電話：0268-23-5120
FAX：0268-25-4100
ueda-ksk@egroups.co.jp

うえだ環境市民会議は、市民・事業者・市のパートナーシップにより、7つのワーキングチームにわかれ、環境をよくする活動に取り組んでいます。それぞれのワーキングチームの活動を紹介します。

自然豊かな山と川を育むまち

■ 11月18日勉強会&ミーティング開催

- 上田市マルチメディア情報センター清水所長の講話
「現代社会とふるさとの自然環境（山林の荒廃と再生、山林化した荒れ放題の山腹の畑の復活と活用）」
- サブチームの責任者を検討。先行取組テーマを「休耕田・耕作放棄農地を、環境保全・生物多様性の保全のために活用する」に決定。

■ 11月28日ミーティング開催

- テーマリーダーの確認
グリーンベルトの保全活用…渋沢美佐緒さん
鎮守の森、公園等の保全活用。
休耕田、耕作放棄農地の活用…小泉寿彦さん
（緑の復元、地球温暖化による生態系への影響と対策。保存樹林・樹木の再調査による指定・指定基準の見直しなど）
自然豊かな里山の再生…きれいな水を育む山林へ…竹花詔一さん
- 自然豊かな里山の再生…きれいな水を育む山林へ
公民館が主体となり活動しているグループ等を調べ、良いものは普及に努める。
- 休耕田、耕作放棄農地の活用
市民、事業者、市との協働「促進」のために上田市の体系制度の確立。（上田市にも市民協働係があるとのこと。仕事の内容を知りたい。）
環境保全行動を実践しているグループと交流し、協働事業の促進の道を探る。

●次回ミーティング

12月10日（水）
午後1時30分
市役所本庁舎2階
第1会議室

講話：上小地方事務所
林務課原課長補佐
「21世紀における
長野県民有林の姿
（試案）について」

「浦里とんぼの会」との協働

「たんぼバイオープ」事業の、現地検討会をする。（WT、市、関係官庁などと）
（たんぼバイオープ事業の検討内容）
「たんぼバイオープ」の隣接道路と阿鳥川との安全策の要否と実現の方策
①木材によるガードレールの要否②環境に適した舗装の要否③既存排水管の適否④子どもに対する安全対策の適否
⑤対岸に駐車場を借り阿鳥川に歩道橋を造る。この実現性の検討。

誰もが安心して健康に暮らせるまち ～きれいな水の循環を考える～

■ 11月28日ミーティング開催

- 浄水場、下水処理場の見学会の実施。
（平成16年1月予定）
- 今後の活動内容の検討
 - ①水源から川まで、水の流れに沿って歩きたい。
 - ②命の水のあり方について学習したい。
 - ③雨水利用など、水の有効利用について検討したい。
- 次回ミーティング 12月22日（月）午後1時30分
市役所本庁舎2階第2会議室 1月の施設見学会、今後の活動内容について検討

うえだの景観

■ 11月28日ミーティング開催

- 「うるおいのあるまち並み形成のためのプログラム」について検討
自分たちで花を育て、自分たちで花を植え、自分たちで管理することを目指し、うるおいのあるまち並みを実現したい。
- ・具体的な場所：電線地中化工事で景観的に一歩前進した中央通りと海野町通り
これらの通りはきれいではあるけれど、中心市街地には緑や花が少ない、という意見を象徴している場所である。中央通りや海野町通りに、新に樹木を植えるのは難しいので、長期的な課題として、今回は花を植えることを中心に考えていく。
- ・ほかのグループとの協働
中心市街地でまちづくり活動を展開している「上田まちづくりワークショップ」「ルーバンデザイン研究所」、中央通りや海野町通りの事業者で構成されている「21世紀会」、須川で里山プロジェクトを実施している「蚕都くらぶ」を検討。特に「蚕都くらぶ」には花を育てる部分で協力して頂けたらと考えている。

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのワーキングチームにも参加できます。参加ご希望の方は、上田市生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

お問い合わせ：電話 0268-23-5120

地球 SOS

■ 11月28日ミーティング開催

○省エネルギーの具体案作成

～ひとりからはじまる「地球を救う127の方法」～
をたたき台にして“上田の省エネルギー実践例や提言”を作成したい。(チームメンバーによる、異年齢の提言がポイント。)

○二酸化炭素を出さないエネルギー(主に水力を中心に)を勉強していきたい。

○地球温暖化の監視：シラカシの分布調査について

12月中にメンバーが下見。温暖化を身近なものとして知って貰うために、冬芽観察会などと合わせ、市民対象の分布調査を行いたい。(3月中に実施したい。)

<シラカシは常緑広葉樹で、比較的寒さに弱いため、上田周辺では自生出来ないとされている。しかし、近年は、中野市から丸子町にかけて実生から成長したシラカシが見られるようになり、上田でも何箇所か幼木が見られるようになっている。今後の分布拡大等を把握するためにも多くの方の参加が必要。>

○浅間山の残雪モニター：3月から6月の間、デジカメ使用で月2回撮影できる方を募集

○ゼロエミッションと森と街の気温測定は継続中

●次回ミーティング 12月9日(火)午後6時から 市役所本庁舎2階第2会議室 省エネの項目事項作成、地球温暖化監視としてのシラカシ分布調査について ほか

げん ゴミゼロ ごみ減 (530)

～資源を有効に利用するまち～

■ 11月21日ミーティング開催

○食品トレー削減について

長野市で協定を結ばれた「生活協同組合コープながの」の担当者から、その後の状況と、今後の課題について、事業者の立場からお話いただいた。

ごみ減チームとして具体的な取組について検討した。

■ 11月21日ミーティング開催

○具体的取組事項の活動の進め方検討資料作成

食品トレー削減、生ごみの減量と堆肥化、リサイクルについての活動手順を検討

○食品トレー削減について

具体的な活動段階では、ワーキングチームメンバーだけでなく、うえだ環境市民会議の取組として、会員のみなさんの協力をいただきたい。

●次回ミーティング 12月19日(金)午後1時30分から 市役所本庁舎2階第2会議室

講話：上田市廃棄物対策課長 「生ごみの堆肥化に関する
上田市の取組経過、現状、今後の方針について」 ほか

環境学習

いのち
～命の連環を学ぶ～

■ 11月10日、28日ミーティング開催

○11月4日の県環境保全協会視察、長野県環境教育に関する学習会参加報告

○ムッレのリーダー養成講座についての紹介

○環境学習講座の企画・計画

- ・様々な場所で環境学習の講演会が行われているので、それらを開催している団体と共同開催をしてみたい(長野大学、消費者の会など)。
- ・現状把握するために、上田市の施設の見学をしてみたい。
- ・リーダー育成のため、講座に参加した人に対して認定制度を設けてほしい。
- ・他のWTと連携を図り、あまり取り上げられていない分野のもの(食についてなど)についての講座を計画してほしい。
- ・環境問題の根本についての学習も必要ではないか。

これらの意見を踏まえ、環境学習講座を下記のように計画しました。

12月：企業のゼロエミッションへの取組。

1月：上田市周辺の環境について～生態系の視点から～
以上、長野大学地域暮らし創り工房との共催

●今後の予定 12月17日(水)午後7時から 学習会開催 会 場：ネットワークハウス縁舎

【下之郷、長福寺(生島足島神社隣、下之郷町から徒歩3分)】

講座内容：「環境経営に向かう企業経営

～企業が取り組むゼロ・エミッション活動」

講 師：表 秀孝 長野大学産業社会学部教授

主 催：学生地域暮らし創り工房 こみっと

共 催：うえだ環境市民会議

環境 ISO ネットワーク

■ 11月28日ミーティング開催

○サブリーダー選出：上田信用金庫 山崎敦之さん

○平成15年度事業計画について

- ・環境 ISO ヘルプデスク…ニーズを明白にする必要がある。
- ・環境 ISO ネットワーク通信紙の発行…企業環境活動の紹介を中心に、定期的に発行する。
- ・環境セミナー…環境法規制の問題、地球環境の実態など
- ・環境勉強会…ISO14001、エコアクション21、エコアクションながの など

○その他 環境学習 WT から、「企業のゼロエミッション活動」を紹介してほしい旨の要望が出されたので、次回以降のミーティングで検討する。